

平成12年介護サービス世帯調査の概況要旨

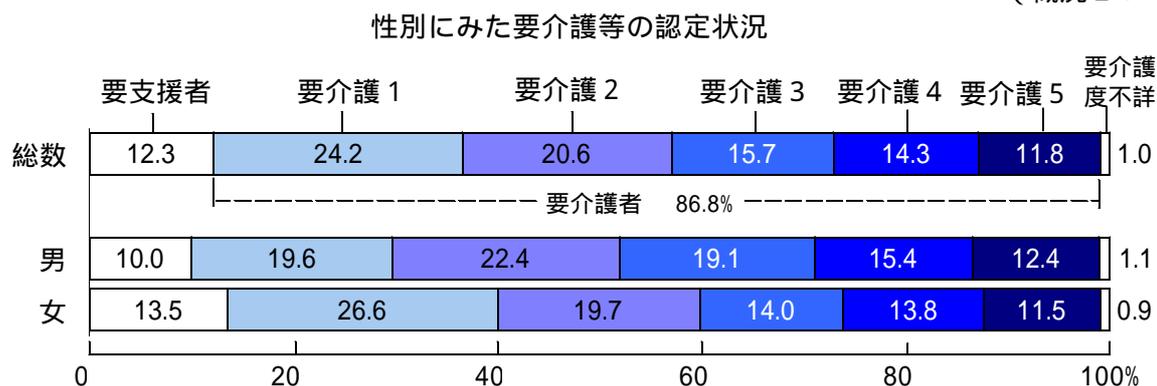
この調査は、日常生活において手助けや見守りを要する者及びその世帯の実態、家族等の介護の状況、居宅サービスの利用状況などの事項を把握することを目的として、全国の日常生活において手助けや見守りを要する40歳以上の者(約4,300人)を対象として平成12年6月1日に実施したものである。

なお、この概況では、介護保険法の要支援又は要介護と認定された者(要介護者等)の状況を中心としてとりまとめた。

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課国民生活基礎調査室
電話(代表)03-5253-1111(内線7592)

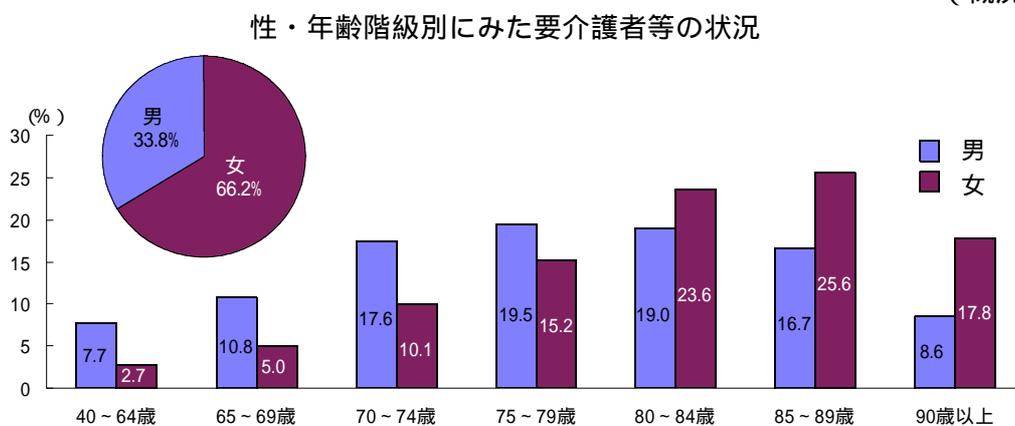
1 男性は「要介護2」、女性は「要介護1」の割合が最も多い

(概況2ページ)



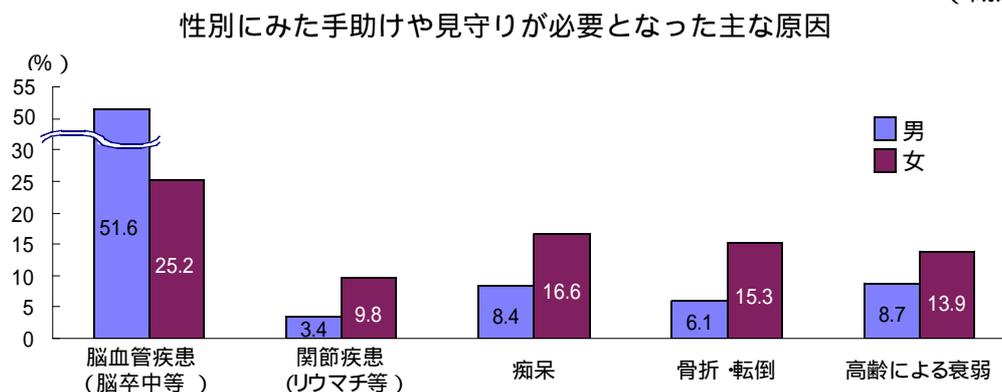
2 要介護者等(要支援者+要介護者)は女性が男性の2倍

(概況4ページ)



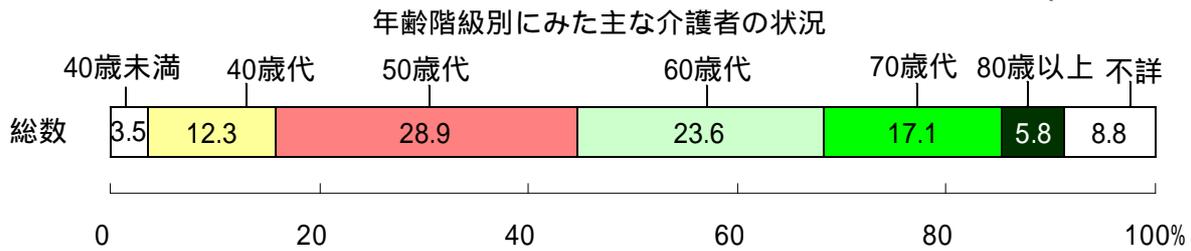
3 主な原因は男性は「脳血管疾患」が半数、女性は「痴呆」「骨折・転倒」等も多い

(概況4ページ)



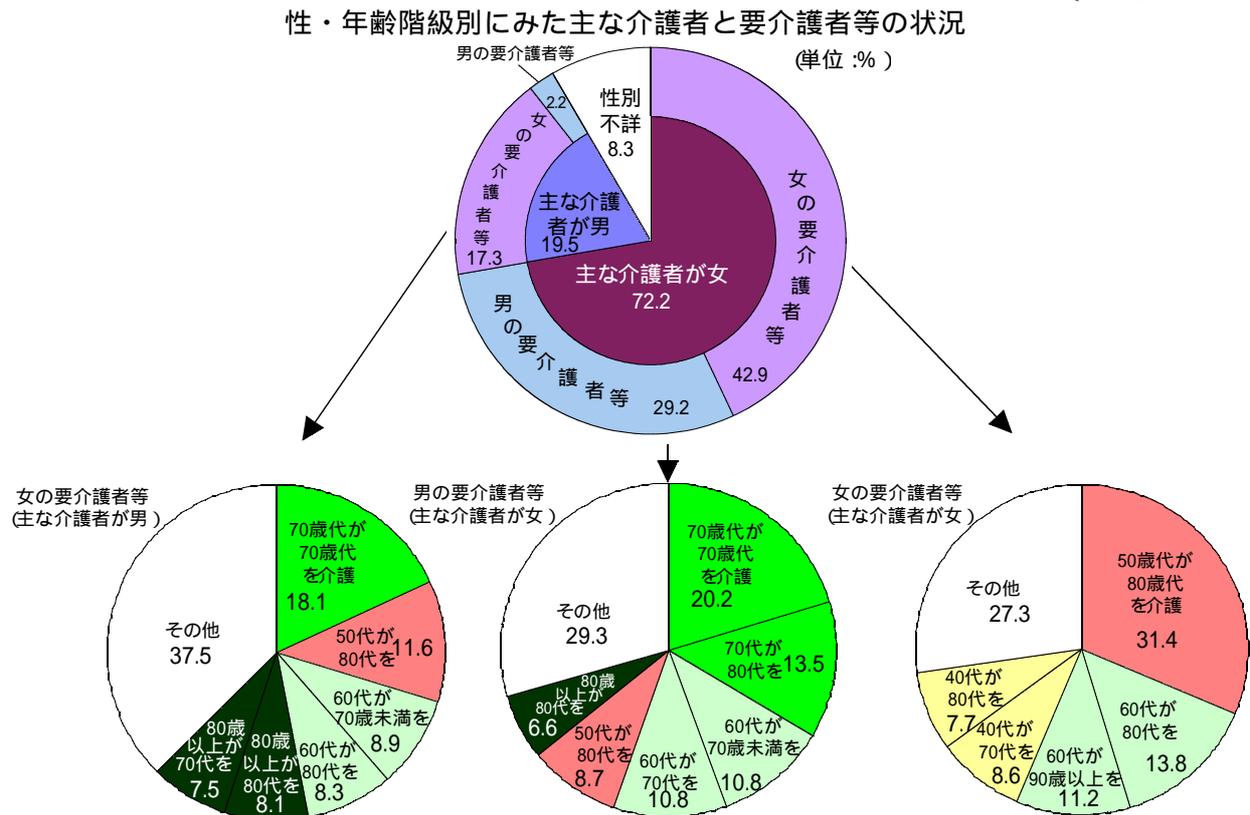
4 主な介護者は50歳代と60歳代で5割を超える

(概況6ページ)



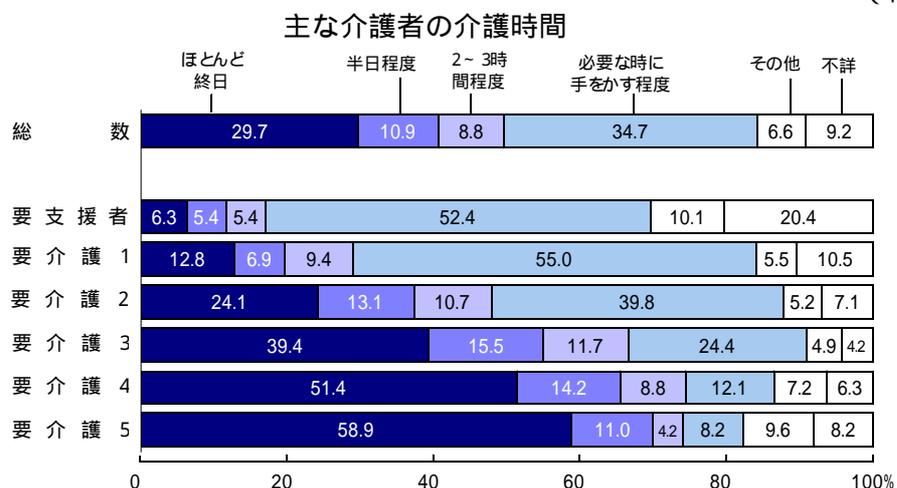
5 女性が女性を介護している割合は42.9%、そのうち約3割は50歳代が80歳代を介護

(概況6ページ)



6 要介護の程度が高くなるに従い「ほとんど終日」の割合が多くなり、「要介護5」では約6割を占める

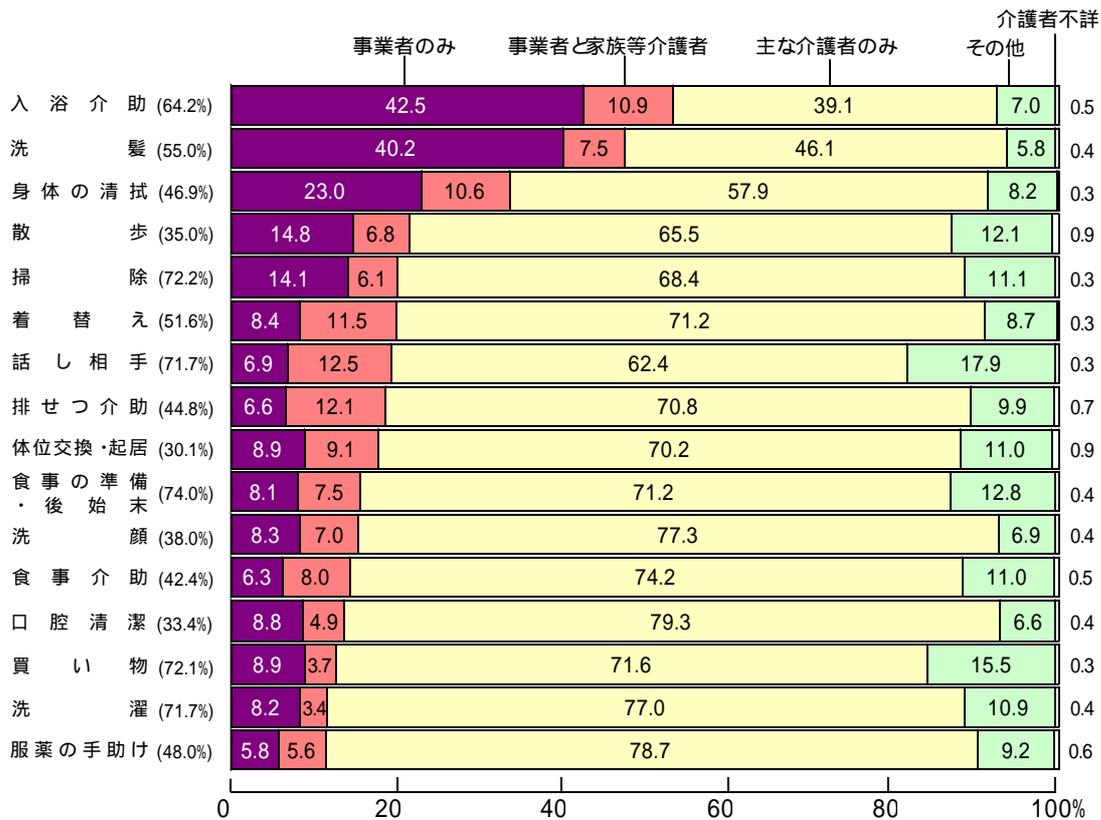
(概況7ページ)



7 「入浴介助」「洗髪」は事業者のみの介護が4割を超える

(概況 8^レ-ジ)

介護内容別に見た介護者の組合せの状況

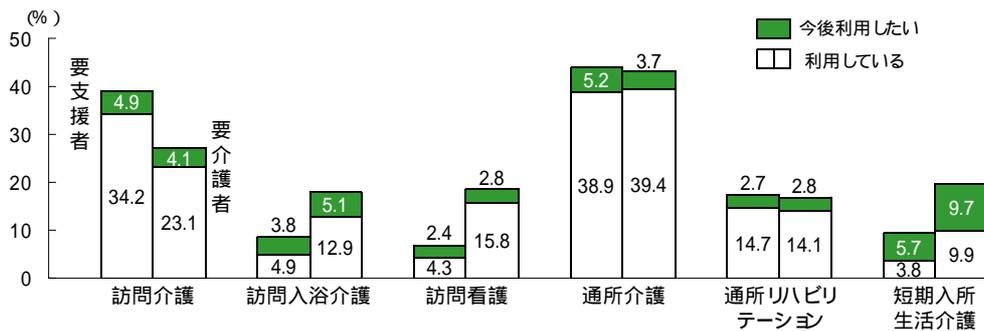


注：1 ()内は、各々の介護内容について、要介護者等が介護を受けている割合である。
2 「その他」とは、主な介護者とその他の介護者、その他の介護者のみをいう

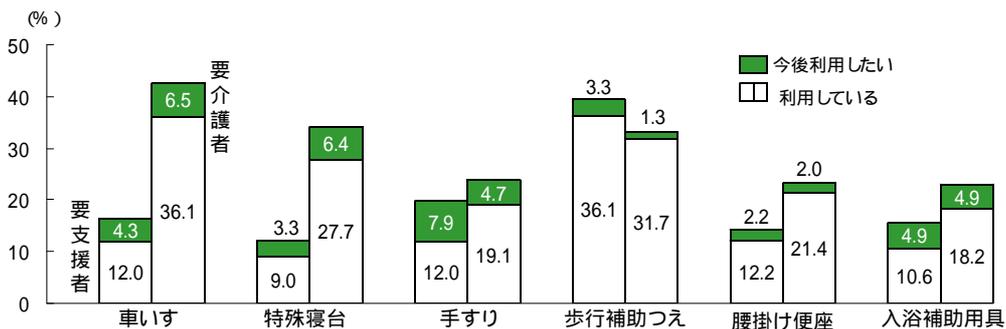
8 今後利用したい居宅サービスは「短期入所生活介護」、福祉用具は「車いす」

(概況 10・11^レ-ジ)

今後利用したい主な居宅サービス (重複計上)



今後利用したい主な福祉用具 (重複計上)



平成12年 介護サービス世帯調査の概要

1 調査の目的

この調査は、日常生活において手助けや見守りを要する者及びその世帯の実態、家族等の介護の状況、居宅サービスの利用状況、利用要望など介護サービスの需要に関する事項を把握し、今後の居宅サービスに関する諸施策の企画のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

全国の日常生活において手助けや見守りを要する40歳以上の者（ただし、65歳未満については、介護保険制度の要介護認定申請を行った者）を対象とし、平成12年国民生活基礎調査で設定された調査地区（2,500地区）内における当該者及びその世帯の世帯員を客体とした。

3 調査の期日

平成12年6月1日（木）

4 調査事項

- (1) 手助けや見守りが必要となった原因
- (2) 心身の状況
- (3) 家族・親族等の介護の状況
- (4) 居宅サービスの利用状況及び利用要望
- (5) 福祉用具の利用状況及び利用要望
- (6) 住居の状況等